

防災教育「防災キッズ」養成講座

NO1 「防災キッズ」認定プログラムを策定するため、プロジェクトメンバーを編成する。

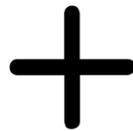
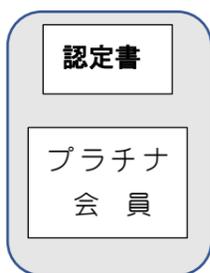
プロジェクトメンバー オブザーバー 比治山大学副学長

メンバー 坂町小屋浦小学校前教頭先生

災害で生活が変わった子どもを支援する会代表

その他、広島市危機管理室職員、教育委員会職員

NO2 防災キッズ講習後、「認定書」と「缶バッジ」を贈呈



自作缶バッジ

NO3 防災キッズの活躍

発表会

マップ作製

町あるき

地域のお年寄りに手紙を書く



現在までの活動で広島市のまちづくりに関わる成果・効果・対象者等の反響など

- ① 安佐北区落合小学校・宇品小学校で総合学習の時間内で「**防災キッズ**」のプログラムを試験(9月中)
- ② その中で文章作成・絵画などの教育も実施したいとの意見があった。
- ③ そこで 子ども達がデザインした缶バッジを作成することになった。(オリンピックの影響?)、
④ 地域の障がい者や老人へ手紙を作成配布することを計画中。

工夫したこと

- ① プロジェクトメンバーの選定：以下の内容に理解が得られるメンバーとする。
 - ⑦ ハイレベルの防災キッズを養成し、防災に興味を持った子供たちを増やすことができる内容であること。
 - ⑧ 防災キッズが地域や家庭で活躍できる人材として適当な内容であること。
 - ⑨ 地域活動に積極的に参加していること。などを条件とした。
- ② プロジェクト講座は、公民館や小学校と連携した活動とし、小学校教育と強く連携したものとする。
- ③ 認定講座を修了すると、認定書と缶バッジを送ることとした。
- ④ 今後、防災ゲームの作成に取り掛かる。